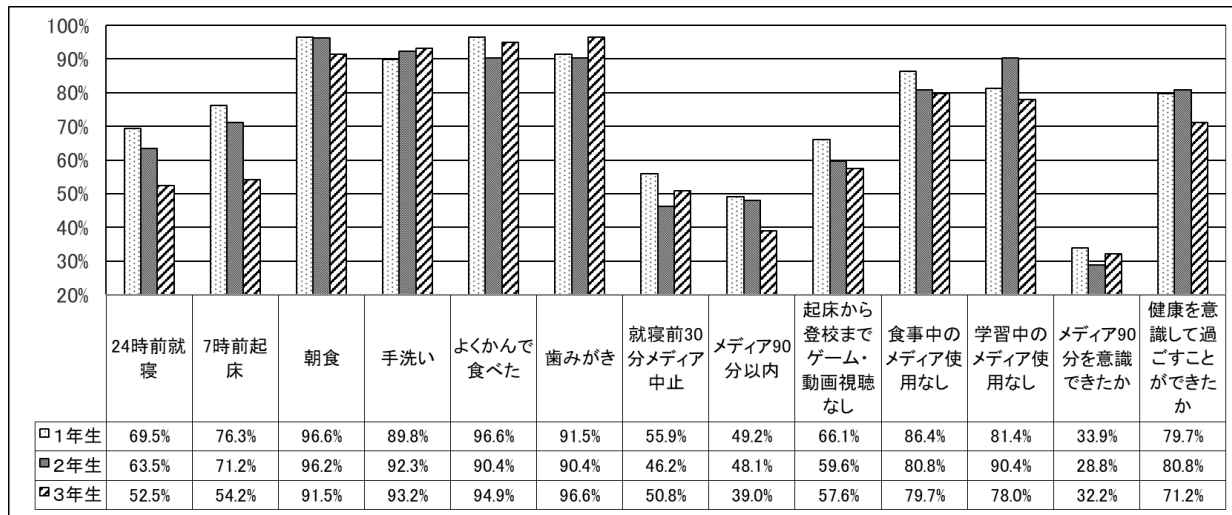


【第2回「My 健」】



② 感染症予防（通年）

教室の常時換気や状況に応じたマスクの着用など自分で適切に判断することができました。12月に、生徒会保健委員会の発案で「手洗いがんばろう週間」に取り組みました。健康管理を意識して行動することができました。

③ 改善点と今後の取組

ア メディアの適切な利用が目標値を大きく下回り、大きな課題です。「My 健」の実施や健康教育とともに、家庭学習時間を調べ、学力との関連を明らかにして、学習、メディア、睡眠のバランスのよい生活を送ることができるよう、具体的な望ましい時間の使い方を指導します。

イ 新型コロナウイルス感染症とともに、インフルエンザやノロウイルスへの注意が必要です。今後も基本的な感染対策を継続して生活するよう指導します。

ウ 記録的な暑さが続く状況の中、感染症予防を意識した生活と熱中症対策を両立することの難しさがありました。学校では、熱中症対策を講じながら体育祭やマラソン大会を実施しました。今後も生徒の安全を最優先して、教育活動に取り組みます。

4 【地域】主体的に地域に貢献する活動を通して育むふるさとを愛する心の定着

(1) 教育活動

＜地域貢献活動＞



＜あいさつ週間＞



＜地域ボランティア活動＞



(2) 成果目標

(3) 肯定的割合

(4) 評価

前期 後期 前期 後期

① 地域の歴史や成り立ち、行事等について調べたり、各種の行事や貢献活動等に積極的に参加したりすることができたとする生徒が80%以上

76.0% 72.0%

B B

② 地域調べを通して地域の特性や危険箇所気付いたり、防災について考えたりすることができたとする生徒が80%以上

89.0% 87.0%

A A

③ 学校は、地域の情報を積極的に得たり、地域との関わりを大切にしたりしていると思う生徒が80%以上

76.1% 73.1%

B B

令和5年度後期

学校評価だより

令和6年1月18日

教育目標 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987 F A X 0256-62-0483

Mail minami@mitsuke-ngt.ed.jp

Homepage www.mitsuke-ngt.ed.jp/~minami/

生徒一人一人の自己肯定感が向上し、学校生活が充実して活力のあるものになるよう、生徒や保護者の皆様のアンケート結果から、9月から12月の成果と課題をまとめました。対策を立てて推進するとともに、皆様の御理解と御支援を賜り、学校生活の充実と心身の健全な成長につなげて参ります。

評価は、目標値に対して、A：「達成」、B：「おおむね達成」、C：「課題がある」としています。

1 【知】自りつ（立・律）のために必要な基礎的・汎用的能力の定着

(1) 教育活動

＜授業改善、職員研修＞



＜教え合い、学び合いの推進＞



(2) 成果目標

(3) 肯定的割合

(4) 評価

前期 後期

前期 後期

① 「学校の学習内容が分かる・できる」と答えた生徒が90%以上

90.7% 89.7%

A B

② 「学校の学習内容が生活の役に立つ、生活が豊かになる」と答えた生徒が90%以上

87.0% 86.4%

B B

③ 定期テスト前2週間の家庭学習を、1年生70分間以上、2年生が80分間以上、3年生が90分間以上する生徒が90%以上

1年生73.0%
2年生81.0%
3年生94.8%

1年生78.4%
2年生93.2%
3年生90.2%

B B

④ 全校基礎テストの合格率が80%以上

78.4% 72.6%

B B

⑤ 「道徳や未来学習を通して、自分の生き方について考えをもったり、深めたりすることができた生徒」が85%以上

89.0% 86.3%

A A

(5) 成果と課題

① 1, 2年生の家庭学習時間が増加しました。2学期から週末課題を出し、締切までに提出するよう指導しました。

② 改善点と今後の取組

ア 授業改善

生徒にどれだけ分かりやすい授業をするかが、最も重要であると考えます。そのために、次のことに全教員が共通に取り組みます。

(ア) 毎時間の授業の始めに、「今日の学習」と「今日の目標（◎）」を生徒に示します。

今日の学習（時間） ◎ 比較級、最上級の英文を使って、自分のテーマについて

1 宿題の点検（3分） 調査し発表しよう

2 個人で音読（3分）

3 ペアで音読（6分）

4 調査活動（23分）

5 発表（10分）

6 小テスト（5分）

月 日 ○ 日 直

(イ) 単元(一定の教育目的のためにひとまとめにされた教材や学習内容)の学習を始める前に、どのような試験や課題で成績を付けるか、どのくらいできるようになればよいかなどを、生徒に説明してから学習に入ります。

(ア) と (イ) を実践することを通して、生徒が「何が」「どの程度まで」分かるようになればよいかということを明らかにするとともに、問題を解いたり課題ができるようになったりするために、教師も教え方や時間、教材などを研究し、分かりやすい授業にすることに努めます。

イ 家庭学習

「分かる」「できる」と答えているが、基礎テストの合格率が下がりました。このことを含めて、生徒は「授業では、『分かった』『答えられた』『できた』と思ったのに、テストでは答えられなかった」ということではないかと分析しました。授業で1回学習しただけでは、理解が定着することが難しく、家庭学習で繰り返し覚えたり理解を深めたりすることが必要だと思います。いつでも「分かる」「できる」と言えるようにするために、次のことに取り組みます。

(ア) 生徒が最も復習に力を入れると思われる「家庭学習強調旬間」(定期テスト前2週間の家庭での学習時間)の結果と定期テストの得点及びメディアの利用時間をクロス集計し、学年の傾向を分析します。

(イ) 健康週間「My 健」を年3回(6, 8, 1月)実施しています。下校後に宿題や家庭学習、睡眠、趣味等の時間を、自ら考えて生活を組み立て、不断に自立し、健康に過ごす態度を育てることを目的としています。家庭学習強調旬間と「My 健」の結果を併せて分析します。生徒が、学校でも家庭でも自主的な態度で日々の学習に臨み、自りつ(立・律)して健康に過ごすことができるよう、時間の使い方を具体的に提案したいと考えております。

2 【徳】 自他共に落ち着いて教育活動に取り組むための行動特性の定着							
(1) 教育活動 ＜体育祭＞ ＜あいさつ運動＞ ＜合唱コンクール＞ ＜いじめ見逃しゼロスクール集会＞							
							
							
(2) 成果目標				(3) 肯定的割合		(4) 評価	
				前期	後期	前期	後期
① 「自分にはよいところがある」と答えた生徒が 80%以上				73.1%	74.8%	B	B
② 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない態度で学校生活を送った」と答えた生徒が 95%以上				97.2%	96.7%	A	A

アンケート名	質問	前期	後期
見附市小中学校 共通アンケート	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	91.4%	91.7%
	難しいことでも、失敗を恐れず挑戦していますか。	72.6%	75.8%
	協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。	91.9%	89.5%
南中アンケート	行事の際に目標を意識して行動することができた。	93.4%	92.3%

(5) 成果と課題

- ① 成果として、次のことが挙げられます。
- ア 「他を大切にしようとする意識」や「他のために役立ちたいという意識」が高かった。
- イ 体育祭(9月)や合唱コンクール(10月)などで、目標に向けて協力して、素晴らしい活動や成果を残すことができた。
- ウ 97%の生徒が、「いじめを許さない」という意識で学校生活を送ることができた。いじめ見逃しゼロスクール集会(10月)で、南中学校区の児童生徒の絆を深めたり、いじめについて深く考えたりすることができた。

② 課題として、次のことが挙げられます。

ア 「自分にはよいところがある」の肯定的割合が伸びなかった。自己肯定感が低く、自信がない傾向が変わらなかった。

イ 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない態度で学校生活を送った」の肯定的割合は高いが、学校生活の中で、相手の気持ちや立場を理解していないような言動や態度が見られたことがあった。

③ 改善点と今後の取組

ア 教師からの形成的評価(生徒たちを注意深く観察したり、質問したりして、活動の成立状態を確認、把握すること)を積極的に行います。自分の価値観や興味・関心、考え方や行動の仕方などをよく表す生き方を実現できるよう、結果よりも過程に注目して指導します。

イ 生徒の意見を幅広く取り入れて、主体的に企画や運営する行事や活動を取り入れます。

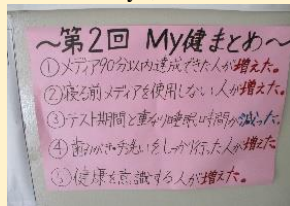
(ア) 学校のきまりやメディアの適切な利用の再考に生徒が参画し、自律して自治的に学校生活を送るようにします。

(イ) 教職員は、共通認識のもと、生徒の主体的な活動を支え、活動の振り返りを丁寧に見取り、自己肯定感をもつことにつなげていきます。

ウ 1年間の道徳や学級活動の予定をしっかりと立てます。生徒が、発達段階に応じて意志決定、問題解決、創造的思考、批判的思考、効果的コミュニケーション、対人関係スキル、自己意識、共感性、情動への対処、ストレスへの対処などを身に付けるよう、いじめ見逃しゼロスクール集会、SNS教育プログラム、自殺予防教育プログラムなどを計画的に実施します。

3 【体】 自他の心身の健康維持と体力向上を持続させる意識の定着

(1) 教育活動

＜My 健＞


＜マラソン大会＞


＜手洗いがんばろう週間＞


(2) 成果目標	(3) 肯定的割合		(4) 評価	
	前期	後期	前期	後期
① 「My 健」期間中、24 時前に就寝した生徒が 85%以上	65.2%	61.8%	B	B
② 「My 健」期間中、7 時前に起床した生徒が 80%以上	64.6%	67.1%	B	B
③ 「My 健」期間中、学習以外の通信機器等、メディアの利用時間 90 分間以内達成が 70%以上	23.2%	45.3%	C	C
④ 熱中症予防や感染症予防、う歯予防など、健康管理を意識して生活することができた生徒が 80%以上	94.0%	89.0%	A	A
⑤ 体力テストの結果を受け、自分の課題を意識して体育、部活動、日常生活での運動に取り組み、体力向上を目指した生徒が 80%以上	85.0%	83.0%	A	A

(5) 成果と課題

- ① 第2回「My 健」(9月)
- ア 個人差があるものの、早寝早起きができている生徒が増えました。しかし、メディア利用は目標値を大きく下回り、引き続き大きな課題となっています。
- イ 「LINEの返信が気になって何度も見てしまう」「返信を何度も確認してしまう」などと述べる生徒がおります。「相手がいるアプリは、自分だけがやめることが難しい」「ゲームや動画視聴をやめられない」「時間があると、スマホを操作してしまう」ということについて、家庭での時間の使い方を具体的に提案する必要があると考えます。

(5) 成果と課題

① 成果として、次のことが挙げられます。

ア 地域貢献活動（9月）

多くの皆様から生徒の活動を見守り、御指導くださいましたことに、心より御礼申し上げます。
「自分が住む地域に貢献したい」という気持ちをもって活動している生徒が多く、活動の振り返りで、生徒の肯定的評価は97%でした。この活動は、地域のよさを再認識する機会にもなっていると考えます。

イ 地域ボランティア活動（通年）

校区のコミュニティや市の担当部局を通して、中学生の参加をお願いされることがあります。できる限り参加するようにしています。参加して、地域の方々から褒めていただいたり、御礼の言葉をかけていただいたりすることが、生徒にとって何よりもうれしいことになっています。

② 課題として、次のことが挙げられます。

ア 地域の現状やニーズを知り、それに応える活動にすることが大切である。

イ 「学校やコミュニティの企画や呼びかけがあるから」という受け身の姿勢から、「自分から声を出そう」「自分から関わってみよう」という主体的に活動に関わる姿勢をもち、地域のために主体的に活動する気持ちを生徒にもたせる。

③ 改善点と今後の取組

ア 地域のニーズを把握するため、校区内のコミュニティの活動と中学生が参加できるボランティア活動を調査しました。これらの活動を令和6年度初に生徒に周知して、「1人1回はボランティア活動に参加しよう」という呼びかけを、生徒会を中心に実施したいと考えています。自分で申し込み、地域の方々に関わりながら視野を広げ、経験を積み、主体性、協調性、情報収集能力、コミュニケーション能力、企画力、発想力、チームワーク力などを身に付ける機会にします。

イ 熱中症対策や他の学校行事の予定を考慮して、地域貢献活動を5月に実施します。今年度中に分団集会を開催して、新分団長を選出するとともに、貢献活動の希望等を伺い、計画したいと考えております。御協力と御支援をお願いします。

令和5年度後期学校保護者アンケートの御意見について

後期学校保護者アンケートに御回答くださり、ありがとうございました。お寄せいただいた中から、代表的な御質問や御意見にお答えいたします。

今後も、皆様からいただいた評価を受けて、教育活動の改善と充実に取り組みます。

質問・意見・要望	回答
○ 生徒がつくる学校と言っているわりには、あまり生徒の声を聞いていないと言っています。意見箱の提案も却下されることが多いようで、もう少し生徒に寄り添ったやり方を考えてほしいです。校則も昔からの校則が多く、理由も生徒が納得のいく理由であればいいのですが、不満が沢山あるようで、学校が窮屈に感じるそうです。もちろん自由過ぎるのは良くないと思いますが、服装や髪型を厳しくしすぎるのは時代に合っていないと思います。多様性時代にそぐわないと思います。	御提案くださり、ありがとうございました。生徒会の意見箱には、生徒会活動に関するに加えて、学校生活についての質問や意見なども寄せられました。生徒が考えて決めることではない内容もあったため、教職員が協議して回答したものもありました。 学校のきまりは、次の方針のもとで、来年度に生徒会で話し合う予定です。1月に、1，2年生と保護者の皆様にアンケートを実施します。皆様の御理解と御協力をお願いします。 1 改正の理由や目的を明確に説明することができる校則にする。 2 社会通念上、合理的と認められる範囲の校則にする。 3 学校や地域の現状を考慮する。 4 しつけやモラル、マナー、健康などに関する事項で、細かいところまで規制するような内容は、校則とするのでは

	なく、学校の重点目標や学校評価、教育活動に位置付けた取組とする。 5 生徒が主体的に考えて、1～3を踏まえた意見を出す。
○ ホームページがリニューアルしてから、学校での様子がこまめにアップされるようになり、子どもとの会話のきっかけになっています。	御覧ください、ありがとうございます。11月に新しいホームページになりました。新しいホームページから、次のことが御覧いただけます。 1 学校紹介：概要、沿革、グランドデザイン等 2 学校の様子：日々の活動 3 各学年の部屋：学年だより 4 お知らせ：年間行事予定、月予定、各種届出等 5 学校の取組：暴風雨時の対応、学校生活のきまり等 「日々の活動」のページに、学校の活動や生徒の様子などをできるだけ毎日お伝えしています。学校からのおたよりや連絡などは、保護者の皆様に確実に届くよう、できるだけメールやホームページでお知らせしたいと考えております。災害が起きたときの対応や学校の予定の変更なども載せる場合がありますので、学校ホームページを御覧くださいようお願いいたします。
○ 現在行事の在り方の見直しをしているようですので、生徒も教員も無理のない年間予定になると良いのではと感じます。	令和6年度の学校行事について、11月の学校だよりでお知らせしました。 1 地区懇談会について：実施しない。 2 学校行事について 学校行事の週休日開催は、休日の部活動の地域移行や習い事などで週休日の予定が多様になることを想定して、段階的に平日開催へ移行したいと考えております。 (1) 体育祭：9月下旬の平日に実施する予定です。理由は、熱中症対策と、県央地区新人大会の期日変更に伴う対応のためです。来年度は、県央地区新人大会が10月初旬に開催される見通しです。 (2) 合唱コンクール：10月下旬の土曜日に実施したいと考えております。 令和6年度の学校行事等の予定は、3月の学校だよりでおおよその予定をお知らせします。4月のPTA総会で、年間予定を配付します。
○ 町内の方とのコミュニケーションをもっと取り入れると良いと思う。	先述のとおり、令和6年度は、「1人1回はボランティア活動に参加しよう」という呼びかけを、生徒会を中心に実施したいと考えています。校区内のコミュニティが行う活動に参加して、地域の方々と交流できるようにしたいと思います。
○ 土曜日の部活の終了時間を守ってほしい。こちらも予定あるので。	活動の開始と終了の時刻を守ります。顧問は、練習の内容と時間を予め決めて、終了時刻に生徒が玄関に行くよう指導します。